

令和 6 年 4 月 1 6 日

鳥取市自治連合会  
各地区会長 様

鳥取市長 深澤 義彦  
(公印省略)

**令和 6 年度 地域の未来づくり懇談会について**

日頃から、市政推進につきましてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、令和 6 年度の開催対象地区を下記のとおりお知らせします。

については、対象地区へ別途「開催希望に関するアンケート」を配布しますので、令和 6 年 5 月 2 4 日 (金)までに協働推進課（支所地域は各支所地域振興課）へご提出くださいますようお願いいたします。

記

**1. 目的**

市民と市の幹部職員等が直接意見交換することにより、地域と行政が一体となって地域課題解決に取り組み、「協働のまちづくり」の推進を図り市政の一層の発展を目指す。

**2. 開催対象地区及び開催時期**

令和 6 年度（前期）は、1 2 地区を対象に開催希望の意向を確認し 7～8 月に、令和 6 年度（後期）は、1 1 地区を対象に開催希望の意向を確認し 1 0～1 1 月に懇談会を実施します。複数の地区での合同開催も可能となりました。（開催希望に関するアンケートは 3 年に 1 回の実施）

**【令和 6 年度（前期）対象地区】※令和元年度に未実施となった 1 2 地区**

地区	地域	地区	地域	地区	地域	地区	地域
湖 南	鳥取	浜 坂	鳥取	宝 木	気高	勝 谷	鹿野
末 恒	鳥取	津ノ井	鳥取	逢 坂	気高	小鷲河	鹿野
湖 山	鳥取	福 部	福部	酒 津	気高	勝 部	青谷

**【令和 6 年度（後期）対象地区】※平成 30 年度(前期)に実施した地区(未実施含む)**

地区	地域	地区	地域	地区	地域	地区	地域
城 北	鳥取	明 徳	鳥取	湖山西	鳥取	瑞 穂	気高
修 立	鳥取	倉 田	鳥取	西 郷	河原	日 置	青谷
富 桑	鳥取	米 里	鳥取	佐 治	佐治		

### 3. 開催方法

平日（火曜日又は金曜日）の午前10時から午後8時までで、1時間から1時間30分を予定。

#### (1) 懇談内容(テーマを1～2項目)

テーマは地域コミュニティ計画に掲げられている地域の課題・目標から抽出し、地域で取り組みたいことや地域の目標について意見交換。(地区要望等と重複しない)

#### (2) 進行方法

進行は地区の代表者等(実情に詳しい方)が行い、車座方式で実施(参加者数に応じて変更可)

#### (3) 出席者(地区側)

テーマに沿って地区側で決定する。(目安は10名以上)

#### (4) 出席者(市側)

懇談するテーマや内容を担当する部課長(テーマに沿う部署)

### 4. 今後のスケジュール

4月16日～	地区会長会で令和6年度の懇談会の説明、受付開始、調整
<u>5月24日</u>	<u>アンケート提出期限</u> (支所地域は、各支所地域振興課へ)
随時	開催希望地区と「課題シート」を基に個別に事前協議
7月～8月	懇談会(前期)の開催
10月～11月	懇談会(後期)の開催

#### 【問い合わせ先】

- ◇ 鳥取地域・・・市民生活部協働推進課【鳥取市役所本庁舎2階27番窓口】  
〒680-8571 鳥取市幸町71番地 電話：(0857) 30-8176
- ◇ 支所市域・・・各総合支所 地域振興課
  - ・ 国府 〒680-0197 鳥取市国府町宮下1221 電話：(0857) 30-8652
  - ・ 福部 〒689-0102 鳥取市福部町細川668 電話：(0857) 30-8662
  - ・ 河原 〒680-1221 鳥取市河原町渡一木277 電話：(0858) 71-1722
  - ・ 用瀬 〒689-1201 鳥取市用瀬町用瀬832 電話：(0858) 71-1892
  - ・ 佐治 〒689-1313 鳥取市佐治町加瀬木2519-3 電話：(0858) 71-1912
  - ・ 気高 〒689-0331 鳥取市気高町浜村282-1 電話：(0857) 30-8672
  - ・ 鹿野 〒689-0405 鳥取市鹿野町鹿野1517 電話：(0857) 30-8682
  - ・ 青谷 〒689-0592 鳥取市青谷町青谷667 電話：(0857) 30-8692

## 地域づくり懇談会の開催までの流れ

### ●開催希望日の60日（2か月）前

申請（希望する地区→市） **※5月24日（金）まで**

次の4項目を取りまとめ、協働推進課へアンケートを提出（対象地区のみ）

- ①テーマ：（地区内で1～2項目に絞る）  
※まちづくり協議会で策定している地域コミュニティ計画に挙げられている目標など、“地域が力を入れていること”“今後地域が実施しようとしていること”について
- ②懇談内容：（具体的にどういった内容について意見交換するか）
- ③参加予定者：（テーマ等をふまえて地区で設定）
- ④希望日程：（平日の10時から20時までの間で設定：最長1.5時間）  
※希望日程は、候補日を複数案ご提示いただく。

### ●開催45日前

結果回答（市→地区）

- ①内容を確認（必要に応じて地区に聞き取り）
- ②市側の対応者を決定し、日程案と合わせて申請地区へ回答

開催準備

- ①開催日程等の決定
- ②参加者への連絡、資料の作成等（地区）
- ③会場の調整、資料の作成等（市）

### ●当日

（地区）

- ①参加者の受付
- ②懇談会の進行

（市）

- ①テーマ・懇談内容に応じて市対応者が地区へ出向く
- ②地域住民との意見交換を実施（内容に応じて市の施策説明）

【会の流れ】※平日10:00～20:00（1～1.5時間程度）

- ① 開会
- ② 地区代表あいさつ
- ③ 意見交換（テーマ）
- ④ 閉会

※懇談会の内容については、後日概要録を作成し、地区公民館をとおして地区会長様をはじめとする出席者の方々に配布するとともに、鳥取市公式ホームページにも掲載します。

<p>(テーマ) ★テーマは1~2つ</p> <p>塩見川河川改修事業に伴うJR福部駅周辺の、未来に向けたまちづくりについて</p>	<p>代表者氏名</p> <p>宇山 英俊</p>	
<p>(テーマの背景・理由)</p> <p>塩見川流域では、たびたび浸水被害が発生し、鳥取県は平成20年6月に「塩見川水系河川整備計画」を策定。令和4年度から、駅前地区の地盤改良工事に着手され、令和6年度からは、JR福部駅前の道路工事に着手されている。福部町では、平成29年度に福部町のまちづくり構想を策定し、まちづくりに取り組んでいるところ、同構想では、塩見川河川改修及びJR福部駅の活性化も重要な課題として位置づけているため。</p>	<p>代表者連絡先</p> <p>090-1017-8526</p>	
	<p>問い合わせ先 (代表者以外)</p> <p>0857-30-8662</p>	
	<p>開催日時</p> <p>2024/ /</p>	
	<p>【庁内】 事前協議</p> <p>2024/ /</p>	
	<p>資料提出</p> <p>2024/ / (資料がある場合のみ)</p>	
	<p>【鳥取市】 出席者 (案)</p>	
<p>(地域の取り組み) ★具体的な事業の実績</p> <p>福部駅は明治43年(1910年)に塩見駅として開業し、昭和24年に福部駅へ改称、昭和47年の無人化を経て、現在に至っている。 平成29年度のまちづくり構想策定を契機に、令和3年度より地元団体が駅舎周辺の環境整備に取り組み、令和6年度には、福部町内の各種団体や企業、行政が共同で、まちづくりイベントの開催を計画している。</p>	<p>(課題・質問) ★アドバイスを受けたいこと など</p> <p>【今後の福部駅利用のあり方】 JR福部駅前の道路工事は令和6~7年度にかけて行われると聞くと、工事完了後の福部駅前のイメージが分からない。送迎車両の待機スペースや駅利用者の駐車スペースは以前より増えるのかどうか、または地元の駅前集落が桜の開花時期に花見などをしていたスペース(市有地)も今は荒廃し、容易に利用できる状態にない。今後の福部駅利用のあり方について、市の考えを教えてください。</p> <p>【無人駅とその周辺の活性化】 近年、JR福部駅は鳥取砂丘に一番近い駅としてAI上で認識され、コロナ禍を経て、訪日外国人旅行者がここで下車し、鳥取砂丘を目指すケースが目立っている。人口減少が進む今日、地域の活性化には、関係人口の拡大が必須で、特に訪日外国人旅行者は日本人の国内旅行者に比べ観光消費額が大きいことから、訪日外国人旅行者の獲得は、JR福部駅と周辺地域の産業(観光・商工業・農林水産業)の活性化に寄与するものと考えます。 無人駅とその周辺の活性化について、市の考え方や先進事例があれば教えてください。</p> <p>【新たな交通手段の実証実験】 自動運転やAIなど、進化するさまざまなテクノロジーを組み合わせた次世代の交通サービスとして、Maas(マース)という新たな交通手段があると聞く。福部町内でも、JRのほか、路線バスやらっちゃんバスがあることから、これらを組み合わせ、さらに利便性を向上させる新たなテクノロジーについて、実証実験等ができないか、市の考えを教えてください。</p>	<p>(担当部局)</p> <p>当日資料(有・無)</p>

(テーマ) ★テーマは1~2つ  地域住民と地域内観光客の移動手段の確保について	代表者氏名	宇山 英俊
	代表者連絡先	090-1017-8526
	問い合わせ先 (代表者以外)	0857-30-8662
	開催日時	2024/ /
	【庁内】 事前協議	2024/ /
(テーマの背景・理由)  ○交通空白地域の状況 本町内の人口減少や少子高齢化の進展、自家用車の普及を背景に既存の路線バス(運行主体:日本交通)や福部循環バス(運行主体:福部町総合福祉センター)の利用者の増加が期待できない。併せて運転手の高齢化を理由に減便や路線縮小などサービス低下により、更なる悪循環が懸念される。 ○観光客の移動手段 インバウンドをはじめとした観光客の増加を見据えた地域内のガイド育成がなく、観光客が道に迷っている場面が散見される。	資料提出	2024/ / (資料がある場合のみ)
	【鳥取市】 出席者 (案)	
	(地域の取り組み) ★具体的な事業の実績	(課題・質問) ★アドバイスを受けたいこと など
○地域の生活交通 福部で運行している路線バスのうち、生活交通として利用されている路線は、市中心部や岩美駅まで運行している日本交通の路線バス(岩美・岩井線)と、地域内を巡回している福部循環バスである。 福部循環バス(らっちゃんバス)は、公共交通空白地有償運送の運行形態をとっており、鳥取市社会福祉協議会が運営主体として、定時定路線で運行されている。	【住民の意識啓発】 地域の公共交通を確保・維持していくためには、“何のために守るのか”という目的意識と、“自分たちで守る”という主体的な責任感を持って取り組むことが大切である。 このため、目指すべき将来の姿の実現に向けて、市民・利用者、公共交通事業者、行政などが連携して取り組んでいくことが求められる。最終的には地域のまちづくり団体が公共交通空白地の運行主体となり、地域交通を維持することと併せ、地域住民のみならず観光客の2次交通としても利用していただけるよう、周知に取り組みたい。 そのために地域住民や地域の運送事業者をはじめとした関係者を巻き込み、関係者が一丸となって「乗って守る」意識をもち、自ら公共交通を守るためには、今後どのような形で地域住民の意識付けをしていけば良いか、他地域での事例を含めてお伺いしたい。	当日資料(有・無)